

知る 広がる 好きになる

たかつき DAYS

高槻暮らしの、いいところ

Interview
高槻に暮らす家族の皆さん

高槻暮らしの、いいところ

家族の数だけある、暮らしのカタチ。
高槻に暮らす3組の家族の日常を、のぞかせてもらいました。

夫婦 + 子ども世帯



いつもは美貴さんがお迎え担当ですが、この日は特別に二人で。陽葵くんが大好きな電車を3人で観賞中。

子育てがしやすい街を探して 仕事と育児を両立

子育てをするために、住みやすい街はどこ？ 麻学夫婦はしっかりとリサーチしたうえで、高槻市への引っ越しを決めました。「妻が妊娠したとき、インターネットで子育て支援が充実した街を調べたんです。高槻市は病院が多く、治安も良いと評判でした」と大輔さん。

しっかり者の二人は、それぞれの実家が少し遠い状況ながら、施設や制度を上手に活用することで、高槻市での子育てを楽しんでいます。



まず、美貴さんが利用したのは、まだ学校に通っていない子どもが集まる、子育て総合支援センター「カンガルーの森」です。「生後3〜4カ月の頃は、よく利用しましたね。引っ越してきたばかりで友達がいなかったのですが、ここのら、陽葵を安心して遊ばせながら、自分もママ友を作ることができました」。

また、親子向けのイベントも、参加してよかった、と美貴さんは振り返ります。



「子ども保健センターのイベントでも、気軽に付き合える友だちができました。今でもその時々で悩みを共有しながら、一緒に解決できています」。

どうしても内にこもりがちになる育児期間。高槻市では、子どもはもちろん、親のための施設やイベントも充実しています。

出産の9カ月後から、美貴さんは安満遺跡公園に隣接する「高槻認定こども園」に陽葵くんを預けて職場に復帰しています。「家と駅の間公園があるので、通わせやすく助かっています」と美貴さん。電車が大好きな陽葵くんは、「Rと阪急、両線に囲まれたこの公園が気に入るそうです」。

「確かに共働きは大変ですが、それ以上に楽しさのほうが大きいです」と話す美貴さんと大輔さん。取材中、二人の仕草や表情からは、子育ての楽しさが溢れ出すようでした。



夫婦ともに、駅までは自転車で移動。陽葵くんのお迎えや買い物は、美貴さんが通勤の道中で済ませています。



Facility

子育て総合支援センター カンガルーの森

北摂最大級のプレイルームを無料で利用できる施設。「ベビールームがあるので、息子が0歳のときから安心して遊ばせることができました」と美貴さん。「子どもだけでなく、親同士の交流・学習も充実しています」。

問合せ TEL:072-686-3030
(子育て総合支援センター)



Facility

高槻認定こども園 病児保育室(高槻子ども未来館1階)

子どもの体調が悪いときは、「病児保育室」で保育が受けられます(在園児以外も利用可)。利用登録をした美貴さんも「今後、ぜひ利用したい。いざというとき安心です」と話します。

問合せ TEL:072-681-2501
(高槻認定こども園病児保育室)



たかつき
×
My life

System

子ども医療費助成制度

令和2年4月の診療分から、助成の対象が18歳まで拡大しました。1医療機関ごとに1日500円以内(月2回まで)の負担で、安心して医療を受けることができます。

問合せ TEL:072-674-7174(高槻市子ども育成課)



あさおだいすけ みき
麻学大輔さん / 美貴さん
はるき
陽葵くん

出産を機に、大阪市内から移住。双方の両親とも家が遠いので、高槻市の施設・制度を活用しながら、共働きで子育て中。



おトクに同居 or 近居
3世代暮らしのすすめ

下里家の場合



System

3世代ファミリー定住支援補助金制度

高槻市では、市外在住の子育て世帯が、市内在住の親世帯と同居・近居する目的で、新しく持家を取得する時、もしくは持家をリフォームする時に、最大20万円を助成。これまでに、この制度を活用して500組以上の3世代ファミリーが誕生しています。詳細は、本誌23ページに掲載しています。

問合せ TEL:072-674-7525 (高槻市住宅課)



親世帯

しらいしまさひろ まゆみ
白石勝啓さん/真弓さん

幼少期を高槻市で過ごした二人。結婚後、市外へ転居したものの、縁あって高槻市に再び戻ることに。娘夫婦が近居したことで、生活スタイルに変化が。

孫とともに、虫取りを楽しむ勝啓さん。「おじいちゃんの虫取りはすごいよ」と、3人は尊敬の眼差し。



育てをサポートする二人は、口をそろえて「忙しくなった!」と笑います。

「男の子は元気ですよ。次から次にやることが増える感じよ」と言いながら、どこかうれしそうな真弓さん。勝啓さんは「高槻のいいところは、自然が豊かなところ。よく孫を連れて、公園に虫取りに行くんです。生きものに触れ合うことで、優しい子に育つんじゃないかな」とにっこり。近居暮らしは、親世帯にとっても、生活の楽しみが増える転機になったようです。

高槻市に暮らす、2組の夫婦。4人で力を合わせながら、子育てを楽しむ姿に、心がほっこりしました。



仕事が遅くなるときは、母娘で協力。真弓さんがおかずを届けることもあるそう。



3世代家族

元気いっぱい
の3兄弟。
子育てには4人が
チームプレーを發揮

共働きで3人の男の子を育てる下里さん夫婦。約1年前、大阪市内から妻・麻衣子さんの両親が暮らす高槻市に引っ越してきました。

「美容師として独立を決めたとき、妻の実家の近くでお店をオープンしようと決めました。孫と祖父母の距離が近い、昔ながらのサザエさんの家庭に憧れて(笑)」と和徳さん。市の定住支援補助金制度を活用し、1階に美容室、2階に居住スペースを設けたマイホームを新築し、近所に住む祖父母と、3世帯の近居暮らしをスタートしました。

以前、大阪市内に住んでいたときは大変だったと麻衣子さんは振り返ります。「看護師として週6で勤務しながら、3人の子育て。仕事終わりに、お迎えに行つて、ご飯を作つて、お風呂に入れて...。今は、実家が歩いてすぐなので、お迎えや食事など、育児のサポートを気軽に頼めて安心です」。

続いて、高槻暮らしのベテラン・麻衣子さんの両親の白石さん夫婦に、近居が始まつてからの、生活の変化をお聞きしました。仕事を続けながら、娘夫婦の子



子世帯

しもさとかずのり まいこ
下里和徳さん/麻衣子さん

「定住支援補助金制度」を活用して、2019年に高槻市に移住。美容師の和徳さんは自宅の1階で自身の店を営み、看護師である麻衣子さんは大阪市内で勤務中。



たかつき
×
My life



Access
大阪、京都へ最速15分以内の好アクセス
大阪と京都の中間にあり、電車は阪急とJRのダブルアクセス。市内は市営バスが網羅しています。紀梨香さんは「友人と富山旅行に行った時も、JR高槻駅発のサンダーバードがあったので便利でした」とも。



Hobby
趣味の時間も充実の毎日
高槻市の魅力の一つは、都会にありながら、自然が豊かなところ。天気の良い日はサイクリングをして、摂津峡公園や城跡公園に出かけるのが、二人の楽しみになっています。



◀ インスタグラム高槻市公式アカウントで『たかつきDAYS』5月号のこぼれ話を配信中!



うめはらまさみ きりか
梅原正巳さん / 紀梨香さん
マイホームの購入を機に、京都から高槻市へ移住。二人とも、JRを使って京都の職場に出勤しています。



駅前には飲食店や公園がたくさんあります。「これからお気に入りの場所を増やしていきたいなあ」と二人。



「なんか恥ずかしいなあ」と、照れ笑いを浮かべながら、快く取材に応じてくれた二人。結婚して2年弱、高槻暮らしはまだ半年の新婚夫婦、正巳さんと紀梨香さんです。

二人の出会いは、京都市内の職場から。新生活は、京都でスタートしましたが、マイホームを買うために、高槻への移住を決めました。

「京都や滋賀など、関西のいろいろな場所を検討して、最後は、妻の実家がある高槻市に決めました。住んでみてびっくり。こんなに便利な場所だったんですね」と正巳さん。紀梨香さんも「二人とも京都に勤務しているのですが、京都市内に住んでいた時よりも、通勤時間が短くなったんです!」と、アクセス抜群の高槻ならではのエピソードを教えてくださいました。

二人の移住に紀梨香さんの両親は大喜び。実家までは自転車で15分の距離なので、晩ご飯を食べに行くこともよくあるそうです。一方、宇治市にある正巳さんの実家も、車があれば1時間圏内。職場と実家、両方において、高槻は二人のちょうどいい場所にありました。

さらに、高槻は遊ぶのにも事欠きません。駅前にはショッピング施設やグルメが充実していて、電車を使えば梅田や京都もすぐそこです。「帰りの電車が遅くまであるので、会社の仲間や、友人との飲み会にも参加しやすいですよ。」

二人の高槻ライフはまだまだ始まったばかり。都会と自然、大阪と京都、いいとこ取りのロケーションを存分に楽しんでほしいです。

二人の生活の真ん中、何をするにもちょうどいい高槻市

「なんか恥ずかしいなあ」と、照れ笑いを浮かべながら、快く取材に応じてくれた二人。結婚して2年弱、高槻暮らしはまだ半年の新婚夫婦、正巳さんと紀梨香さんです。

二人の出会いは、京都市内の職場から。新生活は、京都でスタートしましたが、マイホームを買うために、高槻への

移住を決めました。

「京都や滋賀など、関西のいろいろな場所を検討して、最後は、妻の実家がある高槻市に決めました。住んでみてびっくり。こんなに便利な場所だったんですね」と正巳さん。紀梨香さんも「二人とも京都に勤務しているのですが、京都市内に住んでいた時よりも、通勤時間が短く



ワタシたち

高槻ファミリーでヨカッタ!

住んで良かったエピソードから、クスッと笑える話まで、リアルな声をご紹介します。

こちらもチェック!

「高槻暮らしの、いいところ」をホームページで公開中。

MY LIFE, MORE LIFE.

たかつきに住もう



オモシロ高槻あるある

高槻愛が強いので、規模の似た他市につい張り合ってしまう。

はにたんダンスを、意外とみんな踊れる。

京都人のゆるりとした雰囲気と、大阪人のチャキチャキ気質が混ざり合っている。

一人暮らしにも温かい街

大学の活動で地域のイベントに参加すると、市民の方々の温かさを感じる。皆さんとの交流で、より充実した生活が送れている。
Mさん(20歳・一人暮らし)

交通の便に自信あり

JRと阪急、両方が通っているので、電車遅延が発生しても別経路で移動できる。
I家(母78歳・夫48歳・妻46歳・長男15歳・次男12歳)

グルメの街、高槻!

駅前には飲み屋さんが多過ぎて、どこに食べに行こうか悩む。
Y家(夫39歳・妻38歳)

充実した医療体制で安心

病院や診療所などが多く、医療機関が整備されています。
I家(母92歳・夫73歳・妻67歳)